

関係者評価調書

令和4年度

学校法人 北邦学園

認定こども園桜台いちい幼稚園・保育園

令和4年度の園運営及び自己評価に対する評価、意見は以下の通りです。

建学の精神 『 自然から学ぶ 』

関係者評価の区分

A:成果を上げている。

B:ある程度成果を上げている。

C:もう少し努力が必要である。

D:改善が必要である。

1 本園の教育保育目標

◎思いやりのある子 ◎丈夫で明るい子 ◎想像力豊かな子 ◎やる気のある子

【 各年齢 年間のねらい 】

0歳児 保育教諭に親しみ、安心した気持ちの中で様々なものに興味をもちながら、のびのびと遊ぶ事を楽しむ

1歳児 身近なものに興味をもち、保育教諭や友達との関わりを楽しみながら遊ぶ

2歳児 様々な遊びに関心をもって遊ぶ中で、自分から関わりながら、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ

3歳児 様々な遊びや活動に興味をもって取り組む中で、自分なりに気持ちを表現し、いろいろな友達と関わりながら楽しく遊ぶ

4歳児 様々な活動に目的をもって取り組む中で、いろいろな友達に自分の考えや気持ちを言葉で伝え合いながら、一緒に遊びを楽しむ

5歳児 一人ひとりが見通しをもって様々な活動に意欲的に取り組み、いろいろな友達と互いに気持ちや考えを認め合いながら自信をもって遊びや活動を進める。

自己評価	各学年のねらいに対する 評価内容	関係者評価	
		評価	意見等
「B」	<ul style="list-style-type: none"> ・どの年齢も概ね達成したように感じられた。 ・ねらいの設定の段階では、年中長の『伝え合う』、『認め合う』がどこまで成長として繋げていけるかがポイントと感じていたが、年度末の子どもの姿を見ていると、その部分を意識して援助出来たことが、学びの芽生えとなり大きく成長するきっかけとなったように感じた。今後も色々な学年での学び合いを大切にしながら進めていきたい。 	「A」	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年のねらいが、「遊びを楽しむ」をテーマに、発達段階に応じた適切なものとなっている。また、年齢を追うごとに緩やかな成長を想定した目標となっており、園としての一貫性も見られる。 ・『伝え合う』も『認め合う』も一朝一夕に子どもたちに身につくものでなく、また思いがけない場面でそれが発揮されるものだと思います。ですから、日々の子どもたちへの関わりこそが生きてくると思います。その意識を常に持って支援にあたってくれていたのが分かります。自己評価がBではありますが、今後さらに期待です。 ・自己評価が低いと感じました。普段のお迎え時や、行事での様子や懇談会、他の保護者の話を聞いてとても良い園だと思います。娘も息子も桜台の教育保育目標の4つに十分備わり成長できていると思います。 ・年齢に応じたねらい設定で、自分自身のことからだんだん他者に視点を向けたやりとりを通して、成長を繋げていただけているところが素晴らしいと思いました。また、親としても就学に向けてこういう成長をしてほしいなと思う部分がねらいになっていてありがたいです。 ・子どもたちの成長段階を配慮した無理のないねらいであると思う。

2 重点的に取り組んだ目標・計画について

目 標	具体的な取組み計画	自己評価	関係者評価	
			評価	意見等
保育教諭の 主体性の向上	<u>☆職務に対する意欲の 向上</u>	・職員の主体性・意欲の向上のためには、先ず職務に対する意識とそこに繋がる計画的な仕事の進め方と思い、各学年で計画表を作ったり話し合いの場を設け、工夫を行っ	【評価】 「A」	・学年ごとの計画表の作成や話し合いの場をもち情報共有を行うことが、一人ひとりが先を見通して、主体的に業務に取り組むことに繋がると思われる。また研修への参加によって、知識や

<p>【自己評価】</p> <p>「B」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学園内での研修 (新人研修・中堅研修 ・チーフミティング他) ・外部での研修 ・学年内や個別での話し合い ・職場の環境・雰囲気作り 	<p>た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夢と期待をもって入職したものの、現実とのギャップで意欲を損なわないよう、状況を見て個別面談などの話し合いの場を設けたり、職場内の雰囲気作りにも努めた。 ・様々な研修を受講することで、職務に対する意欲へと繋げ、より視野を広くもち、資質向上に努めることが出来たと感じた。 ・行事や日々の保育活動を通して、楽しかった保育や成功例などを話す場を設けたことで、職員一人ひとりの意欲や主体性の発揮へと少しずつではあるが繋がっていると感じた。 	<p>技能を習得し、一人ひとりが自信を高めて業務にあたれることも大切なことと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年内の調整・調和、また異年齢との調和もとても大切だと思います。会話だけの相談だけではなく、計画表は目で見て分かるので、園の支援の統一に繋がる良い取り組みだと感じました。多忙の中、作成されていて感謝です。『楽しかった保育』聞いてみたいなと思いました。これは、家庭でも生かれますね。また、『前向きに仕事に向かう姿勢』にも繋がりますね。 ・子どもの発達に関する様々な知識と技術がなくてはできない専門的な職業だと思うので、これだけ勉強を重ねられていることに頭が下がる思いです。親としても安心します。 ・《主体性の向上》のためには、仕事が楽しい、職場が好き、このために頑張りたいと思うことが大切だと思います。そのために必要な物は何かを見つけられたら「A」に近づくのかなと思いました。 ・仕事に喜びを感じて取り組んでいけるよう、職員の働く意欲につながる良い働きかけが行われている。
<p>保育環境整備や環境構成の創意工夫</p> <p>【自己評価】</p> <p>「B」</p>	<p>☆環境の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊戯室や保育室の環境整備の見直し ・玩具の見直しと充実 ・園内研究を通しての環境整備や構成の工夫と改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な保育環境を見直し遊びの充実化を図った。シルフィ号では、玩具がなくとも、視覚的な掲示をすることで、子どもたち一人ひとりが遊びのイメージを膨らませながら、環境を生かし工夫した遊びを展開していた。また、環境を見直したところ、柵の幅感覚や小さなささくれなどにも、早急に対処した。 ・小山の芝生に関しては、何度か再度植えてみたものの芝の根付きが悪い状態が続いている。今後も引き続き整備を行っていきたい。 	<p>【評価】</p> <p>「A」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在ある環境をさらに効果的に活用するための研究が十分になされ、有効的に活用されていることを報告から見取ることが出来る。 ・シルフィ号でどんな遊びをしているのか、様子が知りたくなりました。是非ブログで紹介してほしいです！！ ・預かり保育中の様々な取り組みが我が子には、とっても良い影響を与えていただけていると思っています。『いちいの子』らしさを存分に発揮できる環境作りを今後も期待しています。 ・雪解けのグラウンドがドロドロなので、もう少し広い範囲でベニヤ板みたいな物が置いてあると助かります。

		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の園内研究の取り組みとして、環境構成についての学びを深めるための主題設定を行い、実践に取り組んだ。日々使用している玩具の使い方や年齢に応じた遊びの発達や継続のために必要な環境の工夫と援助を見つめ直し、改善に努めた。そのことにより、これからの課題点や着目点にも気づき、実りある結果へと繋がった。今度はそれらを生かした保育の充実化に努めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究資料を読んで、同じ場所・物に対して違った視点でのアプローチで変化を加えられていてすごく考えられていると思いました。 子どもを見ていて、遊びの内容がいつも違うのは、先生たちの取り組みのおかげだったんですね。また、特に良いなと思った点が、跳び箱に対する反省点で、玩具の提案、年齢に応じた遊び方に留まらず、千差万別いる子どもに対して、みんな平等に参加できるよう、1つの玩具で違う遊びを考えていてすごい！と思いました。集団での取り組みを求められる園にとって、「個を尊重する」大切な視点だと感じます。 ・雪解けの泥のぬかるみが、どうしても辛いのです。泥の酷い時だけでも、オートマットなどを敷いてほしいです。 ・保育環境への工夫や配慮が適切になされているように思われる。どんなに気を付けていても思いがけないことが事故につながるので、今後も取り組みの継続を期待します。
<p>保護者理解と連携の強化</p> <p>【自己評価】</p> <p>「C」</p>	<p>☆保護者理解の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コドモンを利用した手紙の見直し ・保護者との連携。(送迎時や電話での会話を充実させる) ・保護者との連携の前に職員間での意識疎通の確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでも意識し努力はしてきたものの、昨年度のアンケートの中でも、配信物についてのご意見を多くいただいたため、内容の確認・記載内容の簡潔化を意識して作成を行った。だがしかし、まだまだ改善と努力が必要と感じる。 ・コドモンの活用については、乳児の保育日誌を始め、お手紙の配信など、いつでも活用しやすいことは、利便性もよく保護者の有効利用へと繋がっていると感じた。今後も検温など更なるコドモンでの活用方法を見直し充実化を図りたい。 ・保護者からの問合せに対しても、担任を中心として職員間でもその内容を共有し、一人ひとりが丁寧に 	<p>【評価】</p> <p>「B」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な家庭・保護者がいる中での情報共有は、園だけではなく、小・中学校でも課題となっている。情報の伝達方法だけではなく、伝わりやす文面や伝えるべき情報の精選も求められていると考えていくことが必要と考える。 ・コドモンの活用がさらに進んだ一年になったと思います。また、保護者のご意見・考えは様々の中、一つ一つ丁寧に対応していただきありがとうございます。 ・コドモンでは、1号園児のお休み連絡また、新2号園児の預かり予定表もコドモンで提出できるようになれば便利だと思います。 ・個人的な話になりますが、我が子が被り物のキャラクターが怖くて悩んだことがありました。その時にも、どうしたら良いのか担任の先生も一緒に悩んで考えて下さいました。多くの出来ることや出来ないことがある中で、こちら側の困りごとに対しても丁寧に対応して下さったことに感謝していますし、嫌な思いをする。

		関わり、連携に繋げることはできたように感じた。		<ul style="list-style-type: none"> ・アプリに関しては、確かに利便性は高いですが、使い方が多様だからこそ、様々な意見が出るのだと思います。これからの改善が楽しみです。 ・配布物や配信の利用への向上意欲があるので、現状の課題が改善されていくものと思う。
<p>コロナウイルスに対する衛生管理の知識を高める</p> <p>【自己評価】</p> <p>「B」</p>	<p>☆正しい知識を身に着ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に発信している正しい情報を理解しながら保育に努める。 ・多くの人が触れる場所の定期的な消毒と換気 ・ソーシャルディスタンスの確保(食事・保育・午睡) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度もコロナ状況により、様々な制限などはあったため、室内行事などは多くの保護者の理解や協力をいただき、開催に繋がられた。次年度は、コロナの分類も変更となることから、園行事もより開かれた内容で進めていこうと考えている。 ・園児が行う行事に関しては、行事前にコロナに対する情報を確認しながら行うことができた。また、その活動を通して、子ども達にも多くの保育経験に繋げることは出来たと感じた。 ・これまでのコロナ対策を得ながら、保育や行事の開催方法を模索し、大きな集団感染とはならず保育を行えたことは、職員一人ひとりの衛生管理に対する意識と日々の行いと感じている。また、これも保護者の方の理解と大きな協力があったの園運営を行えたと感じている。 	<p>【評価】</p> <p>「A」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な対策の下、大きな集団感染が起きなかったことは、職員一人一人の努力、保護者の協力の結果ととらえることが出来る。5類移行を機に、改めて感染防止の方法、保育方法や行事の実施の可否について検討を行う必要となると考える。 ・度重なる情勢の変化に対応するのが大変でしたよね。発信をいつもしっかりしていただいたことに感謝いたします。また、コロナ前後で変わったところの良い部分を精査して、今後の行事等に生かしてもらえると嬉しいです。 ・登降園の際、よく清掃・消毒をしている姿が見られました。また、お泊り会では、前日にコロナ陽性者が出たことで、参加当日に朝の検査対応などいろいろと難しい判断だったとは思いますが、対応が早く、素晴らしいなと感じました。 ・十分に対応して下さっていたと感じています。 ・様々な報道やデーターを読み解き、どれが正しい情報なのかを精査する。同時に、多くの保護者の理解と安心が得られるような対応が必須。マスクについては、解除になったことを受け、なるべく早く保育者の表情が見られる保育環境になることを期待する。

3 評価項目の達成及び取組み状況について

評価項目	達成及び取組み状況	関係者評価	
		評価	意見等
「教育保育の計画性」について 【自己評価】 「C」	<ul style="list-style-type: none"> これまでと同様に園で作成している、いちいの保育や教育保育課程・指導計画をもとに、計画性をもち保育の理解を深められるよう取り組んできたが、日々の業務の中で目標としてきた基準までには、達することが出来なかった。 保育の立案・準備には、保育教諭の育成と確認のため、多くの時間を使用し進めてきたが、計画性という点においては、もう少し効率的に行えるよう今後の課題として残る。 環境構成については、次年度に向けて新たな課題や取り組み方法の改善点も見つかっているため、それらを生かした保育へ繋げていけるよう取り組んでいきたいと考えている。 	【評価】 「B」	<ul style="list-style-type: none"> 目標作成に終わらず、達成状況について短いスパンで評価を行い、必要に応じて、計画の見直しを行うことも大切と考える。 この部分については、保護者という立場からはあまり見えないところではありますが、効率化に貢献できることが保護者にもあれば知らせてほしいなと思いました。 目標としてきた基準に達しなかった理由が、効率的に行なえなかったからだとしたら、次年度は良くなることに期待します。 発達段階が様々な大人数の子ども相手なのだから、立案通りに保育が進まないのが、当たり前と思います。ゆったりとした目標設定で、融通の利く保育でもよし、と思う保育者のゆとりもありかと思います。
「教育保育のあり方、幼児への対応」について 【自己評価】 「C」	<ul style="list-style-type: none"> 職員が一人ひとりの子どもたちの気持ちに寄り添い、丁寧に関わろうとする意識は感じられた。 しかし、集団としての気配り・配慮の甘さや援助としての指導を優先することは、保育者の資質として大きな問題と感じる。また、普段の保育の中でも保育者として気になる言動が見られるため、今後も引き続き、職員一人ひとりと向き合いしっかりと指導していく必要がある。 	【評価】 「B」	<ul style="list-style-type: none"> 個々の教職員は、一人一人の子ども理解を十分に行っていると思う。そこに加えて、全職員で、共通理解のもと一人一人の子どもを見ていけるとより素晴らしいと思う。経験、年齢、子ども観の違う教職員集団ではあるが、子どもを見る目を園全体で揃えていくことも大切かと考える。 いつも丁寧な対応・支援をありがとうございました。 私はいつも先生達に良くしてもらっているので、余り分からないですが…。このような視点があるから、きっといつもトラブルがない良い園になるんですね。 対応の甘さは、個々の経験を積んでいく中で気づいていくこともある。職員同士のさりげない日々のやり取りが、指導の気付きになるきっかけになること

			も期待する。
<p>「保育者としての資質と能力」について</p> <p>【自己評価】</p> <p>「C」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学園主催の研修（絵本・新人・中堅・管理職）や専門性の研修を受講したりと、各自の資質と能力を高めるための学びは、行えたと感じた。 ・今年度は、オンライン研修が主であったため多くの機会を活用して学びに繋げることが出来た。 ・保育者自身を振り返るためのセルフチェックリスト「子どもを尊重する保育」を活用し、保育者としてあるべき言動を見つめ直し保育者育成に努めた。 	<p>【評価】</p> <p>「A」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研究や研修を通して、資質や能力向上については、十分な取り組みがなされていると思われる。 ・若い頃に身につけたものは、一生ものだと思います。積極的に研修に努める姿勢が素晴らしいと感じました。 ・資格を持ち、職についてもなお、これだけ学ぶ場があるのは、素晴らしいですね。資質・能力の向上を目指す為の勉強環境は、十分に整っていると感じました。それでも自己評価が「C」なのであれば、能力・資質向上は、本人のやる気次第だと思うので、「頑張りたい」と思えるような別のアプローチ（負担軽減とか福利厚生とか!?)があることで自己評価も変わってくるのではと思います。 ・様々な設定の研修の機会があり、素晴らしい環境だと思う。時間をやりくりして研修に取り組み、良く努力されていると感じる。
<p>「保護者への対応」について</p> <p>【自己評価】</p> <p>「C」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な対策と検討は行ったものの、やはり今年度も行事においては、参加保護者の制限をせざるを得ない状況であったことは、残念であった。しかし、この件について、次年度は大きく変更できるものと考えている。 ・保護者への配信物については、これまでの反省を受けて、誤字脱字、記載内容のミスがないよう努めたが、改善には至らず、大きな反省として残る。より綿密な確認と配慮は今後も必要と感じる。 ・保護者への丁寧な関わりや配慮はある一定で評価は出来ると感じるが、専門性や職業に対するの認識をより高めるためには、よりきめ細やかな対応と心掛けが必要と感じる。 	<p>【評価】</p> <p>「A」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者参加の行事などについては、5類移行によっては、大きく変わってくると思われる。保護者への連絡内容のミスについては、複数でのチェックによって回避できるものであると考える。 ・コロナでいろいろ制限のある中、工夫していただきありがとうございました。 ・配信物は、分かりにくい物がいくつかありましたが、トラブルしゃなくても日頃の様子を話してくれたり、相談なども丁寧に対応してくれていました。また、預かりの先生たちは、本当に小さなケガや些細な変化にもよく気づき教えてくれたのは、保護者として安心できました。 ・出来ること、出来ないことがある中で、一緒に考え、寄り添って下さることが嬉しいです。そして、親としては、先生達が楽しく余裕を持って仕事をしてほしいと思います。無理のない範囲で、また話を聞いてもらえたら嬉しいです。 ・自己評価の厳しさから、今後の更なる改善を期待しています。

<p>「地域の自然や社会との関わり」について</p> <p>【自己評価】</p> <p>「B」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・不審者対応、自然災害に備えたあらゆる状況に合わせた訓練は行った。 ・例年実施している、厚別西小学校との交流では、可能な限りこれまで通りの内容で実施できた。また幼保小連携においても、少ない機会ではあったが、交流をもつことで、地域への学びに繋がった。 ・ある一定の職員間のみでの交流や知る機会となったため、次年度はこの点についても職員の自覚を高めより積極的に参加できるよう進めていきたい。 	<p>【評価】</p> <p>「A」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小連携、小中一貫教室が盛んになっている今なので、可能な限り、無理なく幼保小で連携をとっていただけると良いと思いました。 ・定期的にあらゆる訓練が行われていて良かったです。また、コロナが落ち着いてきたので、来年度からの地域・社会参加の充実を楽しみにしています。 ・ホームページで、バスのクラクションの鳴らし方の指導を拝見した。子どもの安全への取り組みは具体的で素晴らしい。
<p>「研修と研究」について</p> <p>【自己評価】</p> <p>「B」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研究については、今年度の研究保育テーマ「子どもの意欲や興味関心をひきだし、積極的に遊びを展開していくための保育を考える」は本園の環境や自然が子どもの持つ大きな力を発揮する環境や玩具の大切さに気付き大きな学びを深めることは出来た。しかし、その中では新たな着目点となる今後の課題も多く発見したため、保育者自身の教養や資質向上のため、実りある研究実践をこれからも継続して行いたい。 ・今年度は少しずつ対面研修も増えてはきたものの、オンライン研修を中心に出来る限り意識して参加することは出来た。 	<p>【評価】</p> <p>「A」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実践報告を見せていただく限りでは、十分な研究活動・実践が行われていると判断する。その実践が、教育保育目標に沿った子どもたちの育成に繋がっていると考える。 ・今回、評価委員に参加して感じたことは、先生たちの勉強量が想像以上に多かったことです。 ・園内研究のまとめを読んで、よく考察されていると感じた。今後の保育に活かされることを期待します。

4 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組み方法	関係者評価	
		評価	意見等
① 円滑な園運営	<ul style="list-style-type: none"> ・春よりコロナへの対応が緩和されるため、これまでの経験を生かしながら従来の園生活を過ごすため、綿密な打ち合わせと保育の見直しを行う。 ・行事・保育の意図を伝えることで、職員間での意識向上に繋げ、円滑な保育や創意工夫した実りある保育へと繋がられるよう意識する。 	<p>【評価】 「A」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・5類移行を機に、コロナ禍で変更して良かったこと（継続できること）、コロナ前に戻した方が良いことを分析しながら、教育課程を再編し、円滑かつ創意工夫の見られる園運営が行われると良いと思う。 ・ねらいを踏まえ、仕事内容と時間バランスを考えて見直して下さることを願います。 ・「報連相の徹底」と「遊びを軸としたいちいの保育」の教員間での共有を大切にしていることに共感できます。
② 子どもへの援助と発達支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人ひとりが子どもの育ちや姿をしっかり見つめ、適切な援助や支援を行えるよう、主任を中心として職員間でも情報を共有し連携を取りながら、子どもの成長に繋げていけるよう進めていく。 ・保育者中心ではなく、あくまでも子どもの意欲を大切にするための、保育について学ぶ機会を設ける。 	<p>【評価】 「A」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども中心に考え、意欲を大切にするための教職員の適切な関わり方について学ぶという真摯な姿勢は素晴らしいと思う。 ・様々な実態のお子さんがあるので、情報共有は大切だと思います。今後も続けて下さるようお願いいたします。 ・ねらいの達成を優先せず、子どもの成長を待てる保育に共感できる。
③ 保護者対応と連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者理解という点においては、これまでも努力はしてきたが、まだまだ課題や改善点もあるため、今後は開かれた園を意識して理解に繋がるよう努める。 ・お手紙や配信物を通して、より保護者理解へと繋がるよう、時には保護者の方の声を聞きながら、書物に反映できるよう努める。 	<p>【評価】 「A」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・HP/アプリなどの活用で、情報共有の強化を図ることは大切なことと考える。また、園からの一方向の発信とならないように、保護者の声を聴くという姿勢は評価できるものとする。 ・年度末のクラス懇談なども沢山の話を聞かせていただきありがとうございました。 ・たくさんの考えがあって、全部を聞くのは大変なので、先生達の負担が少しでも減りますように。誤字脱字、人間ですから～！ ・保護者の意見に耳を傾けると同時に、保護者の声に右往左往しないブレない姿勢も大切に！！

<p>④ 保育環境や玩具の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの主体性を育む大切な遊び。それは、環境と玩具が重要であるため、それぞれの環境構成を見つめ直し、工夫する。 ・学園で選定している、玩具の基準とも照らし合わせながら、子どもたちの成長への学びも深める。 	<p>【評価】</p> <p>「A」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの環境、玩具によってどのような遊びや主体的活動につながるのかを見直すことは重要なことと捉える。「これまでは」にこだわらず、新しい発想も取り入れて、見直しを図ると良いと思う。 ・「やってみたい」を大事にした主体性を育むような遊びを今後も継続してください。 ・広くて綺麗な園舎や、自然を満喫できる恵まれた環境を活用したのびのびとした保育を期待します。
----------------------	---	------------------------	--